

6月5日(木) 建設工業



大阪建設業協会(大建協 高田守弘会長)の経営委員会は4、5日の2日間、大阪市中央区の大建建設会館で新入社員研修会を開いている。新卒者を採用する会

大建協が新入社員研修会

員企業が増えている状況を受け、10年ぶりに復活させた。初日の4日には入社1～3年目の若手社員43人が参加し、社会人としての心

10年ぶり復活、若手43人が熱心に聴講

構えや建設業界の動向・基礎知識を熱心に聴講した。写真上。

研修会では冒頭、原貞一副会長・経営委員会委員長が「私も37年前にこの研修を受講したが、建設業のスケールの大きさや全体像を



原副会長

る」とあいさつ。

続いて、鴻池組経営管理本部の大野正明人事部長が「仕事に対する心構え及び若手社員への激励につい

ついでの話が行われた。

5日は、元清水建設関西事業本部技術部長の中川徹氏が「建築工事について知っておきたい地震と建物の基礎知識・推奨したい心構え」、大阪府住宅まちづくり部建築振興課の西田裕一建設指導グループ課長補佐が「建設業法について」、大林組大阪本店の梅津豊安全企画担当部長が「建設業の安全衛生・環境管理について」をテーマにそれぞれ講話する。

感じることで、業界の「一員としての実感が持てた印象深いものだった。将来の建設業界を担う人材としての皆さんにとって、この研修会が広い視野を持った建設人となるためのきっかけとなることを期待して

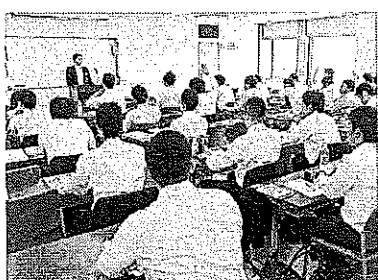
技術者の倫理観など対応に

仕事を理解し交流深めて 新入社員研修会開く 大建協

大阪建設業協会は4月5日の2日間、大阪市中央区の大阪建設会館で入社3年までの若手社員を対象に「新入社員研修会」を開催した。

この研修は、建設業の仕事を理解してもらうとともに、参加者同士の交流を図るのが目的。同協会主催による新入社員研修会の開催は10年ぶりとなり、新入社員ら43名が聴講した。

初日には、同協会副会長・経営委員会委員長の原眞一コーナン建設社長が「私も37年前この業界



に入り、当協会主催の研修で、建設業の大きさや建設工事のプロセスについて受講したことを、今でもありありと思い出すことができる。初めてこの業界についての全体像がおぼろげながら見えた感じで、建設業の一員としての実感がわいた印象深いものだった。本日は皆さんが広い視野をもった建設人となるための、ひとつのきっかけとなれと期待している」と挨拶。

続いて、大野正明鴻池組経営管理本部人事部長が「仕事に対する心構え及び若手社員への激励」、茂原博近畿地方整備局建設部建設産業課長が「建設業與全般の動向」、大阪大学大学院工学研究科の浜田成一HAMADA建設マネジメント研究所長が「建設技術者の倫理観・プロフェッショ

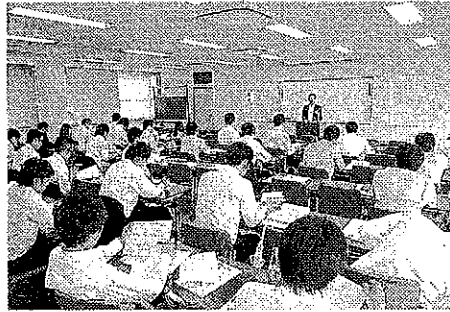
ン(専門職の倫理)」、竹上政崇生國魂神社権禰官が「建設業における式祭対応」と題し講義を行った。

また2日目は、中川徹元清水建設関西事業本部技術部長が「建築工事を知っておきたい地震と建物の基礎知識・推奨したい心構え」、西田裕一大阪府住宅まちづくり部建築振興課建設指導グループ課長補佐が「建設業法」、梅津豊大林組大阪本店安全企画担当部長が「建設業の安全衛生・環境

管理」についてそれぞれ詳しく説明する。

このあと、修了式が行われ、参加者に修了証が交付された。引き続き、参加者・講師を交えた懇親会も開かれる。

また2日目は、中川徹元清水建設関西事業本部技術部長が「建築工事を知っておきたい地震と建物の基礎知識・推奨したい心構え」、西田裕一大阪府住宅まちづくり部建築振興課建設指導グループ課長補佐が「建設業法」、梅津豊大林組大阪本店安全企画担当部長が「建設業の安全衛生・環境



大阪建設業協会は4、5日の2日間にわたり、大阪市中央区の大阪建設会館で「新入社員研修会」を開いた。写真。会員企業の入社3年目までの若手社員を対象に、仕事に対する心構えや建設業界の動向、基礎知識などを伝授するもので、同協会では10年ぶりの開催となった。約40人が参加した。

大建協

10年ぶり新人研修

心構え、知識を伝授

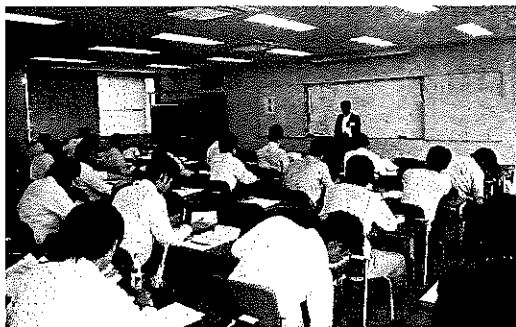


あいさつする原副会長

設業界の全体像がおぼろげにも見えてきたように感じ、建設業の一員としての実感を得ることができた。皆さんにとっても、この2日間が有意義なものになることを願っています」とあいさつした。

はじめに鴻池組経営管理本部の大野正明人事部長が、仕事に対する心構えについて講演した。大野氏は、自分の意志や思いを相手に伝えるためのビジネススキルの大切さを強調。とくに入社してから5年目まではマナーや自己管理能力、心構えといった基本的な事項について意識を配り、身につけるようアドバイスした。参加者はこのほか、「建設業界の動向」「倫理観」「祭礼対応」「建設業法」「安全衛生・環境管理」といったテーマで講習を受けた。

新入社員研修会開く 大建協が10年ぶりに



会員各社の43人が参加した研修会



原副会長

大阪建設協会(藤田 守弘会長)では、会員企業の新入社員を対象とした「新入社員研修会」を、四日・五日の二日間、大阪市中区の大建協会館で開催した。それぞれの業務への理解を深めるとともに、参加者の交流を図ること、人脈を広げること等を目的に開催されたもので、協会としても一〇年ぶりの開催となった。

研修会には、会員各社「建設業は社会資本整備やまちづくり、安心と安全を担う重要な産業であり、技術系や事務系を問わず、将来を担う人材として、建設業の基本を学び、広い視野を持った建設人になるための契機としてほしい」と参加者を激励。

また原副会長は、自身も三十七年前に協会主催のこの研修会を受講したことに触れながら、「初めて業界の全体像が見えたことを感じ、建設業の一員としての実感がわいた」と振り返りながら、この研修会が有意義なものとなるよう、その成果に期待を寄せた。

研修テーマと講師は次の通り。(敬称略)

▽仕事に対する心構え及び若手社員への激励について：大野正明・澁池組経営管理本部人事部長

▽建設業界全般の動向

について：茂原博・近畿研究所所長

地方整備局建設部建設産業課長

▽建設技術者の倫理観：プロフェッション専門職の倫理について：門田成一・大阪大学大学院工学研究科(Ph.D)建設マネジメント研究水建設関西事業本部技術企画担当部長

▽建設法について：西田裕一・大阪府住宅まちづくり部建築振興課建設指導グループ課長補佐

▽建設業の安全衛生・環境管理について：梅澤豊・大林組大阪本店安全

▽建設業における式祭対応について：竹上政崇・生國魂神社権禰宣

▽建築工事について：知っておきたい地震と建築物の基礎知識・推奨した心構え：中川徹・元清

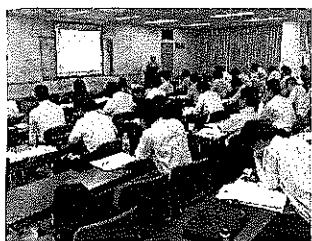
大建協

2日にわたり新入社員研修会開く

大阪建設業協会(鳥田守弘会長)は4、5日、大阪市内で新入社員研修会を開いた。建設企業に入社して3年目までの若手社員43人が参加。建設業の仕事について学ぶとともに、参加者同士の交流を深めた。

研修会に先立ち、同協会副会長で経営委員会委員長の前原一氏は、10年ぶりに復活した研修会。技術系、事務系を問わず将来の建設業界を担う人材として、建設業の基本を学び、広い視野を持った建設人となるためのきっかけにしてほしい」とあいさつした。

初日には、鴻池組経営管理本部人事部長の大野正明氏が仕事に対する心構え、国土交通省近畿地方整備局建設部建設産業課長の茂原博氏が建設業界全般の動向について解説。また、大阪大学工學院研究科HAMADA建設マネジメント研究所長の



2日目に建築工事について学ぶ若手社員

の浜田成一氏は建設技術者の倫理観、生國魂神社権禰宜(ねぎ)の竹上政崇氏は建設業における式祭対応について講演した。

2日目は、元清水建設関西事業本部技術部長の中川徹氏、大阪府住宅まちづくり部建設指導グループ課長補佐の西田裕一氏、大林組大阪本店安全企画担当課長の梅津豊氏が講師となり、建築工事や建設業法、安全衛生・環境管理を説明した。